

第 40 回燃焼シンポジウム講演論文集原稿（和文題目）

- 執筆要領（和文副題） -

Manuscript for the Proceedings of the Fortieth Symposium (Japanese) on Combustion (English Title)

- Formatting Specification (English Sub-title) -

大阪 花子¹・浪速 太郎^{1*}・梅田 二郎¹・難波 花江²・堺 三郎²・KANSAI, Kazuo³

OSAKA, Hanako¹, NANIWA, Taro^{1*}, UMEDA, Jiro¹, NAMBA, Hanae², SAKAI, Saburo², KANSAI, Kazuo³

¹ 大阪府立大学大学院工学研究科 〒599-8531 堺市学園町 1-1
Osaka Prefecture University, 1-1 Gakuen-cho, Sakai, Osaka 599-8531, Japan

² 大阪ガス開発研究部 〒554-0051 大阪市此花区西島 6-19-9
Osaka Gas Co., Ltd., 6-19-9 Torishima, Konohana-ku, Osaka, Osaka 554-0051, Japan

³ Osaka Prefecture University, 1-1 Gakuen-cho, Sakai, Osaka 599-8531, Japan

1. 緒言

第 40 回燃焼シンポジウムの講演論文集原稿は、この執筆要領にしたがって御作成下さい。

2. 著者

講演者、著者は、日本燃焼学会の会員として下さい。
(非会員の方へは、この機会に入会をお勧めします。)

3. 内容

シンポジウム参加者が研究の内容を十分に理解できて、討論に参加できるような内容の原稿として下さい。また、主要な研究成果は必ず原稿に記載して下さい。「実験結果は講演会場において発表する」等の表現は、不可とします。

4. 講演題目・著者

講演題目、著者（講演者、および著者順序も含む）の変更は認められておりませんので、講演申込時と同一として下さい。

5. 原稿用紙・色・余白

講演論文集原稿は、A4 判白紙に印刷して御提出下さい。
原稿の色はモノクロ（白黒）として、ワードプロセッサで作成して下さい。カラー原稿、青インク、ボールペン、鉛筆書きの原稿、および電子ファイルは、受け付けずに返却いたします。
余白はそれぞれ、
上：25 mm，下：15 mm，左：16 mm，右：16 mm
として下さい。

6. 原稿ページ数

原稿のページ数は、2 ページとします。超過や不足の場合には、受け付けずに返却いたしますので、御注意下さい。

7. 印刷

提出頂いた原稿を、そのままオフセット印刷します。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

- 全角 30 文字 -

8. 原稿書式

次の書式を基本設定として下さい。
フォントサイズ： 9 ポイント
和文フォント： 明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント： Century 体またはこれに準じるフォント
行間隔または改行幅： 11 ポイント（固定）
文字間隔または字間： 標準（Word），1 ポイント（一太郎）
句読点は、「，」、「（カンマ）」、「。」（ピリオド）として下さい。

8.1 題目

和文題目は、次の書式として下さい（英文原稿は除く）。

フォントサイズ： 11 ポイント
和文フォント： ゴシック体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント： Arial 体またはこれに準じるフォント
行間隔または改行幅： 16.5 ポイント（固定）
配置： 左寄せ

副題のある場合は、和文題目の次の行に、和文副題を半角のハイフンと空白とではさんで、次の書式で記載して下さい（英文原稿は除く）。

フォントサイズ： 10 ポイント
和文フォント： ゴシック体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント： Arial 体またはこれに準じるフォント
配置： 左寄せ

英文題目は、和文題目から半行（行間隔または改行幅：5.5 ポイント）あけ、Main words の最初の文字のみ大文字として、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 10 ポイント
数字・欧文フォント： Arial 体またはこれに準じるフォント
配置： 左寄せ

副題のある場合は、英文題目の次の行に、英文副題の Main words の最初の文字のみ大文字として、半角のハイフンと空白とではさみ、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ： 9 ポイント
数字・欧文フォント： Arial 体またはこれに準じるフォント
配置： 左寄せ

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

8.2 著者

8.2.1 著者名

和文著者名は、英文題目から1行あけて、次の書式で記載して下さい(英文原稿は除く)。

フォントサイズ: 9ポイント
和文フォント: 明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント: Century体またはこれに準じるフォント
配置: 左寄せ
姓名の区切(和名): 半角空白
著者間の区切: 「・」(中丸)

ただし、英文表記の著者名が含まれる場合は、その著者名は姓、名の順で、姓は全て大文字、名は最初の文字のみを大文字として、姓名の区切にはカンマと半角空白とを入れて下さい。

また、著者の所属機関を示すために各著者名の右肩に数字(半角上付、通し番号)を、著者が複数の場合には講演者を示すためにその著者名の右肩に「*」印(半角上付)を、それぞれ付して下さい。

英文著者名は、和文著者名から半行(行間隔または改行幅: 5.5ポイント)あけて、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ: 8ポイント
数字・欧文フォント: Century体またはこれに準じるフォント
配置: 左寄せ
著者名: 姓、名の順、姓は全て大文字、
名は最初の文字のみを大文字

姓名の区切: カンマと半角空白
著者間の区切: カンマと半角空白

また、所属機関、講演者を示すための数字、印も、和文著者名と同様に付して下さい。

8.2.2 著者所属機関

各著者の所属機関とその住所を、英文著者名から1行あけて、次の書式で列挙して下さい。

フォントサイズ: 8ポイント
フォントスタイル: 斜体(イタリック)
和文フォント: 明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント: Century体またはこれに準じるフォント
番号: 半角上付
配置: 左寄せ

各所属機関の間は、半行(行間隔または改行幅: 5.5ポイント)あけて下さい。所属機関名の前には、著者名に付した通し番号に対応する数字(半角上付)と半角空白とを入れて下さい。和文著者名に対応する所属機関については、初めの行に和文で、次の行に英文で、所属機関とその住所を記載して下さい。また、所属機関とその住所が2行以上とならないよう、詳細な部署、社名の「株式会社」等は、適宜省略願います。ただし、略記はお避け下さい。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

8.3 本文

著者所属機関から1.5~2行あけて、2段組として本文を記載して下さい。

段組: 2段 段の幅: 87mm

間隔または段間: 6mm

見出しはポイントシステムにしたがい、

1. …
- 1.1. …
- 1.1.1. …

のようにして、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ: 9ポイント
和文フォント: ゴシック体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント: Arial体またはこれに準じるフォント
文字間隔または字間: 標準(Word), 1ポイント(一太郎)
配置: 左寄せ

見出し後の文章は、見出しの次の行から、次の書式で記載して下さい。

フォントサイズ: 8.5ポイント
和文フォント: 明朝体またはこれに準じるフォント
数字・欧文フォント: Century体またはこれに準じるフォント
文字間隔または字間: 狭く0.2ポイント(Word),
または、-0.6ポイント(一太郎)
配置: 両端揃え

8.4 図表

図表名は英文とします。通し番号を付して(図: Fig. 1, Fig. 2, , 表: Table 1, Table 2,)、図の場合にはその下に、表の場合にはその上に、図表名を記載して下さい。図表の配置は、なるべく本文と同様に2段組として、本文との対応に配慮して下さい。また、本文とは1行以上あけるようにして下さい。図表(写真)を原稿に貼付する場合には、輸送中、印刷作業中における剥落の可能性に、十分御注意下さい。

8.5 文献

本文中の引用箇所では[1]のように通し番号で示し、本文末尾に通し番号とともに、対応する文献を次のように列挙して下さい(配置: 左寄せ)。

1. 著者1・著者2・著者3, 日本燃焼学会誌 44: 101-111 (2002)
2. Author1, A., Author2, B. and Author3, C., Proc. Combust. Inst. 28: 1001-1008 (2000)
3. 著者名, 雑誌名 巻数: 掲載ページ(発刊年)
11. 著者1・著者2・著者3, 第39回燃焼シンポジウム講演論文集, pp.201-202 (2001)
12. Author1, A., Author2, B. and Author3, C., Proc. 3rd ASPACC, pp.501-504 (2001)
13. 著者名, 書名, 掲載ページ(発刊年)

9. 原稿の提出

原稿の右上余白に、講演番号、講演者、ページ数を、次の書式で青色鉛筆で御記入下さい。

講演番号・講演者・ページ番号/総ページ数

原稿1部とそのコピー2部を、締切日までに下記宛にお送り下さい(郵送または宅配便)。宛名の下、または品名欄には、講演番号を明記して下さい。

締切: 2002年(平成14年)9月24日(火)(必着)

宛先: 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1
大阪大学大学院工学研究科
機械物理工学専攻熱工学領域内
第40回燃焼シンポジウム講演論文集原稿受付係

御質問等は、第40回燃焼シンポジウム事務局(電話・FAX: 072-254-9225, E-mail: sympo40@combustionsociety.jp)までお寄せ下さい。

10. 原稿の返却

提出いただいた原稿は、返却いたしません。